

3類型	農林水産物、鉱工業品	通巻番号	7 - 20 - 016
地域資源名	徳島すぎ、藍染め	認定日	平成21年2月17日
地域	徳島県徳島市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

**事業名：徳島すぎと藍染め技術を活用した新商品「藍染フローリング」の  
開発・製造・販売**

会社名：大利木材株式会社  
 連絡先：TEL：088-662-5505  
 FAX：088-663-4050

所在地：徳島県徳島市津田海岸町7 - 68  
 HP：<http://www.dairinet.com/>

**事業概要(新たな活用の視点)**

- ・徳島県は古くから家具・仏壇・鏡台の生産量を誇る木工県であり、原料としての木材、合板や製紙工場も存在することから、日本有数の木材資源集積県である。
- ・また、藍の国内有数最大の生産地であり、歴史的背景から藍染繊維の生産者や、藍染料の流通に携わる流通業者が多く存在している。
- ・取引関係にある住宅建材メーカーと打合せを重ねるなかで、新しい戦略を開発していく必要性をお互いに検討し、徳島すぎを有効活用したいと考え、事業に着手した。
- ・建材分野の技術と家具や衣料の分野で培われてきた伝統技術とを組み合わせ、新感覚の床材等の建材を開発する。また、木材と藍というマッチングに着目し、徳島すぎの利用新境地を築くとともに、新しい「和モダン」として建材分野へ企画の提案を行っていく。

**売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)**

**競争力**

- ・「藍染フローリング」は既存の建材に比べ、藍塗料を家具塗装技術により塗装を行い、表面強度が確保されている面で優位性がある。また、「和モダン」として和・洋の両方に使用できる新しいデザイン性の面でも差別化が図られている。

**市場性**

- ・床材の市場は、複合・単層フローリング合わせ、6,800万㎡にも及び、この分野での活用を開発することは森林政策においても重要な課題とされ、今後、多様なライフスタイルに合わせたニーズが高まると思われる。

**販路**

- ・ハウスメーカー・ハウビルダー・設計事務所・設計コンサルタントなどへのマーケティング調査、製品プレゼンテーションを行い販売を行う。また、コンベンションや展示会への出展を行うなど更なる需要の開拓を行う。



**地域資源における関係事業者との連携**

- ・森林組合等、県内山林事業者と連携し事業を進めていく。
- ・藍染めの研究を行っている徳島県立工業技術センター、藍染塗装・加工業者等と積極的な連携を図る。